

国語科の基本方針

1 国語科で目指す子ども

国語等の能力を發揮して、目的に応じて必要な情報を判断し、判断した情報を取り入れて表現する子ども

国語科では、実生活で生きて働く国語の能力の育成を目指す。当校では、課題を解決するために必要な情報を収集して整理し、自分の考えを形成して表現する能力の育成に重点を置く。そのために、次の2つの学習場面を設定する。

① 子どもが明確な目的と視点とをもち自己の経験や教材文などから必要な情報を収集する場面

② 収集した情報から必要だと判断した情報を自らの表現に取り入れる場面

子どもは、まず、提示された言語活動から課題を設定する。次に、課題解決をするための様々な情報を、自分の経験や教材文などから収集する。そして、思考ツールを使って収集した情報を整理し、自分の表現に必要な情報を判断する。その後、必要だと判断した情報を取り入れ、表現する。

さらに、収集した情報と情報とを比較関係付けることで必要な情報を判断し、取り入れて表現することができたことを自覚する姿が、当校の国語科で目指す子どもの姿である。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり

○ 第1学年：「書くこと」

書くために必要な事柄を収集・選択し、経験したことを明確に書き表す子ども

桑原は、第1学年の「書くこと」において、まず、活動後の感想を班で交流す

る場を設定する。子どもは、したことや感じたことを想起し、付箋紙に書き出すことで事柄を収集する。その後、「収集した事柄をどのように使って書けばよいか」と問いをもち、学習課題を設定する。

次に、収集した事柄を用いて文章化するための方法を問う。子どもは、「構成表」等の思考ツールを使い、経験したことを時系列に沿って並べ替えれば文章が書けそうだと見通しをもつ。

その後、文章を書くうえで必要な事柄はどれかを問う。子どもは、言葉に着目し、言葉と相手や目的とに関係付けて考えることで、文章に必要な事柄を判断する。そして、判断した事柄を活用して、自分の考えが伝わる文章を書き表す。

○ 第4学年：「読むこと」

文章の要点を解釈しながら読み、自分の考えを形成する子ども

里村は、第4学年の「読むこと」において、まず、文章の要点にかかわる言葉を組み込んだ言語活動を提示し、この言葉に対する考えを表出させる。子どもは、この言葉に対する考えの相違に気付き、「この言葉はどのような意味か」と問いをもち、学習課題を設定する。

次に、文章の題名を伝えて「読んで何が分かればよいか。分かるためにどうするか」を問い、文章を提示する。子どもは、文章の要点にかかわる言葉の意味に着目して読む。その後、文章の中で大事な叙述と大事だと思う理由とを問う。子どもは文章の要点を取り出して解釈する。

そして、自分の考えに取り入れたい叙述を問う。子どもは、思考ツールを使って自分に必要な叙述を選択し、その叙述を根拠とした自分の考えを形成する。

3 国語科で育成する資質・能力

	「話すこと・聞くこと」	「書くこと」	「読むこと」
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○事柄の順序を考えながら話す技能(低) ○大事なことを落とさないように聞く技能(低) ○話題に沿って話し合う技能(低) ○筋道を立てて話す技能(中) ○話の中心に気を付けて聞く技能(中) ○進行に沿って話し合う技能(中) ○的確に話す技能(高) ○話し手の意図をつかみながら聞く技能(高) ○計画的に話し合う技能(高) 	<ul style="list-style-type: none"> ○順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く技能(低) ○段落相互の関係などに注意して文章を書く技能(中) ○文章全体の構成の効果を考えて文章を書く技能(高) 	<ul style="list-style-type: none"> ○事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む技能(低) ○大事な言葉や文に注意しながら読む技能(低) ○目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む技能(中) ○文章の要点や細かい点に注意しながら読む技能(中) ○目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む技能(高) ○考えたことや伝えたいことを明確にしながら読む技能(高)
	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の働きや役割に関する知識 ○言葉の使い方に関する知識 ○伝統的な言語文化に関する知識 ○情報活用に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の特徴やきまりに関する知識 ○書写に関する知識 ○文章の種類に関する知識 	
② 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な事柄を収集する力 ○話し手の考えたことや伝えたいことを推論する力 ○必要な事柄を多面的・多角的に精査し構造化する力 ○話し手の考えたことや伝えたいことをとらえる力 ○考えたことや伝えたいことを言葉にする力 ○話し手の考えたことや伝えたいことを言葉にする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な事柄を収集する力 ○必要な事柄を多面的・多角的に精査し構造化する力 ○考えたことや伝えたいことを言葉にする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○書き手の考えたことや伝えたいことを解釈する力 ○文章から得た情報を多面的・多角的に精査し構造化する力 ○文章の叙述を根拠として考えを形成する力
③ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを進んで話したり、互いの思いや考えを共感的に聞いたりしようとする態度(低) ○相手や目的に応じて、工夫しながら話したり聞いたりしようとする態度(中) ○相手や目的及び意図などに応じて適切に話したり聞いたりしようとする態度(高) 	<ul style="list-style-type: none"> ○経験したことや想像したこと、自分の思いを進んで書こうとする態度(低) ○相手や目的に応じて、工夫しながら書こうとする態度(中) ○目的や意図、相手に応じて、文章の種類を選択し、適切に書こうとする態度(高) 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら楽しんだり知識を得たりするために読書しようとする態度(低) ○様々な目的に応じて幅広く読書しようとする態度(中) ○読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度(高)

4 国語科の学習で働かせる見方・考え方

	「話すこと・聞くこと」	「書くこと」	「読むこと」
見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○話す言葉や話している言葉の意味、働き、使い方に着目すること ○言葉と相手や目的、場とを関係付けて考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○書こうとする言葉の意味、働き、使い方に着目すること ○言葉と相手や目的、意図とを関係付けて考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章に書かれてある言葉の意味、働き、使い方に着目すること ○言葉と目的とを関係付けて考えること

